

# ごしがわら

広報

平成9年



シンボルマーク

11.15 No.891

人口と世帯

10月31日現在 ( )内は前回は、男24,000(+27) 女26,682(+37) 計50,682(+64) 世帯17,741(+46)



訪れた人も見事な収穫結果に目を引く

今年も収穫された地場産品、郷土工芸などを楽しむ「ごしがわら産業まつり」が十一月二日と三日の両日、市民体育館で開催されました。  
四十回目をむかえた今回は、新鮮野菜くだものとれたて市や農産加工品即売コーナー等が展示し、りんごや手作りみそ・とうふなどが安価で提供され、また豚汁の無料サービスや演芸大会(三日)ゲスト竹谷美和子、福引き大会(四日)ゲスト原かおり)が行われるなど訪れた人達にとって楽しい連休になりました。

いまとれたて！の季節です

大盛況

## 第14回ごしがわら産業まつり

### 地域産業の振興と

### 市民生活の向上に

農林産物共進会では、今年収穫された水稲、果樹、野菜、花き、雑穀、林産物が展示され、優秀な作品には賞状と賞品が贈呈されました。(最優秀賞のみ掲載いたします)

また誘致企業、地域産業を紹介するコーナーでは技術紹介、各社製品の展示販売が行われるなど、活力ある街づくりの基になる人材や産品などを産業まつりは支援しています。

○最優秀賞

〈花き部門〉今 正一さん 出展作品 秋芳の力(菊花)  
〈雑穀部門〉福土 てるさん 出展作品 小豆

また、第四回ごしがわら菊まつりが同時開催され、会場の菊ヶ丘水郷公園に晩香会、市農業センター等から約千五百鉢の菊花が展示、即売され大輪菊、ポットマムなど色とりどりの花が市民の目を楽しませていました。

家庭内で眠っていた生活用品、手作り作品の展示、即売(生活学校コーナー)



菊花即売会は女性に大人気(ごしがわら菊まつり)



# 晴れの受賞

## 並びに 内助功労章、表彰式



十一月三日、市内五松苑で平成九年度文化褒賞・市褒賞並びに内助功労章表彰式が受賞者をはじめ成田市長、表彰推薦委員、来賓など約百名が参加して行われました。

これは、市の文化振興、発展に優れた功績を表した方々、公共の福祉の増進に顕著な業績のあった方々、徳行が優れ広く市

### 文化褒賞

七和高校の県立移管に尽力  
阿部祥吾氏 (76歳)  
羽野木沢



長年にわたり七和高校の発展充実に寄与し幾多の優秀な人材を育成するとともに、同校の県立移管にあたっては身を挺して実現にあたり今日の五所川原東高校の基盤を築きあげたほか、市教育委員会委員長の要職を務め当市教育の振興発展に貢献された。

内助功労章 阿部富美さん

民の模範となる方々を表彰するものです。

表彰式では、成田市長から受賞者一人ひとりに褒状、褒章並びに記念品を贈り功績を称えました。

今回の受賞者は、文化褒賞三名、市褒賞三名、内助功労章六名で次の方々です。(順不同)

市教育委員長として教育振興に尽力  
石岡浩氏 (72歳)  
福山



三十九年の長きにわたりこの地初中等教育の振興に寄与し多くの前途有為な人材を育成するとともに、市教育委員会委員長の要職を務め当市教育の振興発展に尽力されたほか県菊花連盟副会長として花を愛でる心や自然の尊さ美しさを広く啓発し地域文化の向上に貢献された。

内助功労章 石岡昭子さん

## 平成9年度 文化褒賞・市褒賞



生涯スポーツ普及振興に尽力

工藤由衛氏 (79歳)

豊成



若くから持ち前の才覚を発揮し一代で建設業を起し地域農業や都市基盤の整備充実を努めるとともに、私財を投じて多くの社会奉仕活動を実践し潤いのある地域社会づくりに尽力したほか市ゲートボール協会会長として生涯スポーツの普及振興と生きがいづくりに貢献された。

内助功労章 工藤トク子さん

### 市褒賞

市議会議長として活躍

川浪重次郎氏 (78歳)

鶴ヶ岡



長年にわたり農業協同組合職員として地域農業の振興に尽くされたのち市議会議員として連続五期十八年にわたり農政をはじめ幾多の市政の課題に積極的に取り組み多大な成果をあげ、この間市議会議長も務め公正公平で円滑な議会運営に尽力するなど地方自治の伸長に貢献された。

内助功労章 川浪きやさん

地方自治の伸長に貢献

齊藤昇氏

(平成八年三月十一日逝去 70歳)

松島二丁目



地域住民の衆望を担い弱冠十三歳で市議会議員に当選して以来通算七期二十六年にわたり市政運営に参画し、豊富な識見と卓越した行動力で産業の振興はもとより交通体系の整備や健全財政の確立など多方面にわたり敏腕をふるわれ市政の発展に貢献された。

内助功労章 齊藤千恵子さん

市消防団長として団員の育成

加藤兼顯氏 (77歳)

稲実



昭和二十二年四月旧栄村消防団に入団以来その任務を深く自覚し、消防水利の充実のため自らの敷地を提供するなどして地域の民生安定のため率先して防火活動に奔走するとともに当市消防団長や副団長を務め団員の指導育成や消防技術向上に手腕発揮し市民の生命と財産を守るために貢献された。

内助功労章 加藤キヨさん

### 秋の叙勲

十一月三日付けで秋の叙勲受賞者が発表され、当市から船水信一氏が勲五等瑞宝章の榮譽に浴されました。



勲五等瑞宝章

船水信一氏

大正六年三月三十日生 (80歳)

市内飯詰字福泉八五の三

昭和二十八年四月から旧飯詰村村議会議員一期、昭和四十六年十月から昭和六十年十月まで連続四期にわたって五所川原市議会議員を務め、産業の振興や学校施設の充実さらには交通体系の整備や観光面等多方面にわたって市政の伸長に大きく寄与されました。

この他、金木営林署飯詰共有林組合長として林野行政の振興にも貢献されました。

# 故郷を遠く離れて

## わ・五所川原会 総会開催

十月二十五日、関東圏内に在住する市出身者で組織する「わ・五所川原会」が東京銀座の文祥堂で開催されました。

総会には約百六十名が出席し、新会長に選任された元自民党事務局長の花田潔氏が「自分の生まれた街はいつまでも誇りです。活力ある五所川原のため協力していきたい」とあいさつ。成田市長も「みなさんの期待に応え活力ある五所川原にしたい」と祝辞を述べました。

その後の懇親会では、津軽三味線やビンゴゲームなどで会員達は交流を深め故郷の思いを語り合っていました。



昔話に花も咲く… 盛会だった懇親会

# 高能率畜産基地へ

## 津軽西部区域の 畜産基盤が整備 されました。



市長から感謝状をおくられた  
原田祥文農用地整備公団東北支社長

十月二十九日、ブラザマリユウ五所川原において津軽西部区域農用地整備公団事業の完工式が行われ、佐藤保隆東北農政局生産流通部長、高橋弘一県議会議長、同事業促進協議会長の成田市長等が出席し、事業の完成を祝いました。  
同事業は、総事業費七十三億円、平成五年より着工されたもので、当市のほか西北地域近隣七町村の未利用地及び低利用地(三〇〇ha)を造成整備、公共牧場を核とした生産団地の建設等により、地域畜産の発展と畜産物の安定供給を図るものです。

# 街づくり花いっぱい の楽園に

(高橋俊仁君の作品)

## 第二十回住みよい環境づくり 児童生徒作品展

### 児童生徒作品展

きれいな街、住みよい環境づくりをめざし環境衛生思想を普及するため作品展が開催され、次の子ども達が入賞しました。

#### 入賞者 (敬称略)

##### ポスターの部

##### 特別賞

鰐田 勇司 (五一中二年)

白戸 完美 (五一中三年)

##### 金賞

齊藤 諒 (中央小六年)

一戸 康弘 (五一中一年)

成田 陽子 (五一中二年)

##### 銀賞

飛鳴 翔 (中央小二年)

対馬 慎也 (中央小四年)

成田 知佳 (五一中二年)

小林 妙子 (五一中二年)

##### 銅賞

葛西 勇典 (中央小二年)

坂本 嵩延 (中央小二年)

桜庭 功喜 (中央小四年)

吉沢 昌志 (中央小五年)

原 昭仁 (五一中一年)

齋藤 絵美 (五一中二年)

工藤 文子 (五一中三年)

太田 純子 (五一中三年)

秋元 千穂 (五一中三年)

##### 書道の部

##### 特別賞

藤田 公子 (五小三年)

三上南海子 (中央小五年)

##### 金賞

奈良麻耶子 (五小四年)

中嶋 剛大 (五小五年)

宮越久美子 (五一中二年)

##### 銀賞

木村 理央 (五小三年)

吉岡 洋平 (沖飯詰小四年)

福土 怜奈 (東小六年)

宮越垂矢子 (五一中三年)

##### 銅賞

金川 尚寛 (五小三年)

山内 貴子 (五小四年)

一戸 康弘 (藻川小五年)

三上真恵子 (南小六年)

岩谷 直美 (五一中二年)

松本 祐輔 (五四中三年)

##### 標語の部

##### 特別賞

高橋 俊仁 (中央小四年)

##### 金賞

須藤加奈子 (五四中三年)

##### 銀賞

高橋茉尉子 (藻川小六年)

中谷 郁 (五四中三年)

太田 康之 (五四中三年)

##### 銅賞

外崎 敬宏 (藻川小四年)

竹谷 美穂 (藻川小六年)

山内 崇嗣 (五四中一年)

##### 作文の部

##### 特別賞

千田 雅和 (五一中一年)

##### 金賞

川浪 崇 (藻川小四年)

原 理子 (五一中一年)

白川こずえ (五一中三年)

##### 銀賞

白取 秀俊 (五四中一年)

秋田 寿香 (五四中一年)

佐藤 静香 (五四中三年)

##### 銅賞

小山内明日香 (五一中一年)

伊香 里美 (五一中一年)

佐々木邦和 (五一中三年)

花田 勝暁 (五四中三年)



ポスターの部 特別賞・白戸完美さんの作品

豊かな地域福祉をめざして  
第40回 五所川原市社会福祉大会開催

11月6日、「地域福祉を支えるあなたの愛 みんなで広げる福祉の輪」をスローガンに、第40回五所川原市社会福祉大会がふるさと交流圏民センター・オルテンシアにおいて開催されました。

「福祉の心」と題した弘前市盛雲院、三浦義弘住職の講演後、大会では「画一的な福祉施策から、人と人とのふれあいを深め、より一層の福祉の充実に努めたい」と成田市長があいさつし、社会福祉発展に功績のあった方々に表彰状、感謝状を贈りました。



受賞者を代表し  
市長より表彰を  
受ける  
坂本憲昭さん  
(第一地区社協)

老人とふれあい福祉のつどい  
子供とお年寄りみんな仲良し

10月25日、「老人とふれあい福祉のつどい」（三好地区社会福祉協議会主催 小野稔会長）がコミュニティセンター三好で約300名が参加し行われました。

地域のお年寄りと、小・中学校の児童生徒の交流を深めるため毎年行っているもので、つどいでは藻川小・鶴ヶ岡小・三好中学校児童生徒が劇、作文を発表した後、昼食を一緒に食べながら、おじいさん、おばあさん達と談笑し、また日頃は聞けない津軽の昔話に耳を傾けていました。



「おじいちゃん、おばあちゃん  
いつもありがとう」  
普段の感謝の気持ちを  
作文発表

善意の花かこ



どうもありがとうございます

- ◎ 養護老人ホームくるみ園へ
- ◎ 全日本マッサージ師会西北五師会県保険鍼灸マッサージ師会（寺内雄一五所川原支部長）へ 慰問（マッサージ奉仕六名）
- ◎ 藻川民謡むつみ会（外崎武夫会長）へ 慰問（民謡と手踊り ジュース二箱）
- ◎ 五所川原郵便切手販売協会（一戸千代三郎会長）へ 寄贈（年賀ハガキ百枚）
- ◎ 五所川原市社会福祉協議会へ
- ◎ 栄小学校創立百二十周年実行委員会（小田桐竹春実行委員長）へ 四万四千七十二円
- ◎ 下山学園五所川原商業高等学校校友会へ 一万九千五百六十一円
- ◎ 五所川原第一中学校JRC委員会バザー權益へ 八万八千七百十八円
- ◎ ラブソデー 亀田京子さん（本町二六・二）へ 二万五千円
- ◎ 五所川原郵便切手販売協会（一戸千代三郎会長）へ 寄贈（年賀ハガキ七百枚）

ストップ 地球温暖化  
列島縦横エコリレー  
に激励

十二月一日の地球温暖化防止京都会議に向け、民間からの意志表示を呼びかけ北海道から京都までを各地域のエコランナーが自転車で行っています。十一月には当市に到着し菊池助役から会議成功の激励を受けたエコランナー達が、京都に向け出発しました。



「温暖化に少しでも歯止をかけた」  
市役所前 おまつり広場を出発する  
エコランナーの五農生

障害に負けずがんばった  
櫛引順吉君を表彰



「順吉君(中央)とお父さんの忠造さん(左端)  
お母さんの麻記子さん(中央後)  
五所川原保育園の先生達(4名)」

今年の東奥児童美術展で、図画の部特選を受賞した櫛引順吉君（六歳 五所川原保育園）に成田市長から表彰状が送られ、ダウン症というハンディキヤップを乗り越えた順吉君の努力と才能をあらためてたたえました。これからも、がんばってください！

市職員厚生大臣表彰

市民課 木村さん

市民課木村あき主査が、永年の厚生統計事務精励に対し厚生大臣より表彰を受けました。  
出生、婚姻、死亡等市民生活に深く関わり、また直接市民とふれあう職務を着実にこなしてきた木村主査が表彰されたことは、市役所にとっても大変うれしいものです。



「大変励みになります。  
以後も市民の方々のため  
に頑張っていきたい」



市長に目録をわたす  
一戸千代三郎会長と敦賀又四郎理事

前号では須恵器について、また10月4日発表された犬走須恵器窯跡の調査結果をお知らせしました。今回は須恵器を実際使っていた先人達に注目していきます。



遺跡の発掘風景  
本発掘は村越団長以下ボランティアで行われた。



発掘途中の須恵器  
ていねいに破片の回りの土を取り除く

また今回の発掘調査では、窯跡から鉄製の鍬先が発見されています。持子沢Cと呼ばれる窯跡からも木を切ためのものと思われる鉄製の斧が出土しており、当時既に鉄製品が日常生活に使われていたことをうかがわせます。また、普及していたとはいえ大変貴重な鉄が窯の中にあつたことは、窯炊きしたときなにか祭祀的な意味、「たとえば須恵器製作に使った鍬を窯の神に感謝して奉納する」などの意味を込めていたのではないのでしょうか。毎回鉄を入れていたとは思えませんから、今回発見されたことは学術的にも非常に貴重です。

これらのことを考えても、当時蝦夷と呼ばれた人達は庶民レベルにおいては中央と何ら遜色のない生活をしていただことがうかがえます。



須恵器大甕

人と比べるとその大きさが解かる  
(写真は浪岡町中世の館より提供)

## ○誰が須恵器を作ったの？

工人集団の一部は、隠川遺跡（持子沢地区）に住んでいた人達だと思われます。同遺跡からは須恵器製作に必要な「ろくろピット」の跡が確認されています。遺跡の年代も9世紀後半と見られており、隠川遺跡の住人達は持子沢から前田野目一帯に須恵器窯を製作していた工人の可能性が高いと思います。

当時の津軽は未だ大和朝廷側から蝦夷（えみし）といわれる人達が住んでいる地域でした。隠川遺跡の人達もそんな蝦夷の中の一部族だったのかもしれませんが。近年まで朝廷と蝦夷は激しく戦ってきたと思われていました。坂上田村麻呂が征夷大將軍として蝦夷討伐を行ったのは797年以降のことです。これ以降津軽の古代集落には大和朝廷の影響が色濃く見られるようになります。現在の大阪府から東国へ広まったとされる須恵器の工人達が450年北上して最後に行き着いた場所、それが五所川原だったと考えられます。

五所川原の須恵器窯跡が作られた9世紀頃は、ちょうど中央でも一般の人々に須恵器が普及し始めた頃でした。それと同時に、この北の地でも須恵器は日常の用具・容器・祭祀の用具として使われていたと思われます。甕や壺の中には米、麦、大豆等が、大甕には翌年のための種もみが保存されていたかもしれません。残念ながら、隠川遺跡で発見された須恵器には米や種もみなどが付着していませんでした。今後の調査でどのように使われたかが解明されていくことでしょう。

## ○前田野目地区は須恵器の一大産地だった？

### 交易から見る前田野目遺跡の価値。

前田野目須恵器窯跡群は現在17箇所発掘・確認されていますが、「まだ数倍は地中に埋もれたまま」というのが、今回発掘に携わった関係者の考えです。また、同遺跡で作られたと思われる須恵器が、北は北海道の網走の近く常呂（ところ）町から南は秋田県の鹿角市、岩手県の久慈市まで広がっています。これだけの交易圏を持つ須恵器は大変少なく、同窯跡から作られる須恵器の優秀さを示すと共に、当時青森県の持つ地勢の有利さを示しています。

直接の支配を受けてはいなくても、文化的側面、日常生活においては朝廷側の影響を十分に受けていた前田野目地区には、北の地よりラッコや熊等の毛皮、海産物、弓矢の矢に使われる鷹の羽などが須恵器と交換され、さらにそれら京都へ送っていたと思われます。津軽地域からは須恵器とともに鉄製品や塩、そして漆器などが北の社会に向けて送られていたと考えられます。

つまり、隠川遺跡の住人達は一種の三角貿易をしていたと考えられ、津軽海峡を背にした境界的地勢を利用していた交易の民でもあったのです。朝廷を頂点としていた国家が、これまでの自給的社会から経済的社会へと変わっていった当時、先人達はしたたかに、そしてしなやかに生きていたことでしょう。

○工人達はどこへ行ったのか？

前田野目須恵器その後

遠く北海道までもその技術を示し、また見事な経済感覚を持っていたと思われる隠川遺跡の住人達はその後どんな運命をたどったのでしょうか。

現在、前田野目遺跡から発見されている須恵器は9世紀後半から11世紀の間のもので、それ以前はともかくとして、その後須恵器が作られなくなったのは工人達に何か社会的変化が起こったことがうかがわれます。12世紀になると、朝廷を中心とする中央政府では大陸からもたらされた新しい技術、中国陶磁器の影響を受けた瀬戸焼きや珠洲（すず）焼きなどの大量生産技術が確立されつつありました。そして経済社会へと移行した畿内の商人達は交易圏を広げ奥州の須恵器を駆逐していったと思われます。



須恵器大甕  
(口径21cm)



鉄製鋤先  
(長さ16cm 幅15cm)



須恵器おちょこ形  
(口径7.5cm)

1) 工人南下説

秋田県の二ツ井町で12世紀ころ作られたと思われる須恵器系窯跡が発見されています。前田野目の工人達は中央に対抗するためもう一度南下したのではないのでしょうか。理由として、前田野目地区では須恵器製作のための木を切りすぎた、原料となる土が手に入りづらくなった、場所が無くなった等が考えられます。つまり北の地は須恵器作りに適さなくなったと考えられます。それに加えて、三角貿易の一点を担った地理的優位さもそのころは中央の影響下に完全におかれていたため、緩衝地帯としての役割はなくなっており交易の権益を無くしていたでしょう。

工人達はより中央に近い方へ技術と市場を求め南下していったのかもかもしれません。

2) 工人農民化説

須恵器作りはもともと生産効率の悪いものでした。一回焼成するごとに窯を壊していたため（犬走須恵器窯跡では2回）、生産コストが高くまた大変手間がかかるものでした。専門工人と言うのはまれで、そのほとんどは半農・半工の生活だったでしょう。それが中央の安価で良質の焼き物群に駆逐されていく過程で、工人達は農業へと移っていったとも考えられます。

ろくろを棄てた工人は、その手に鋤を持ち替えたのではないのでしょうか。

☆犬走須恵器窯跡は1000年という時を越えて、いろいろな想像、物語を私たちに語りかけてくれます。今回掲載されたものはその一部に過ぎません。今後どのような発見がされるか、どのような新しい学説が発表されるか大変楽しみです。

そして、この五所川原の先人達が残してくれた「宝物」を大切に、次の世代へと受け継いでいくことが、私たちがしなければならないことです。

梵珠山を行く

『わがまちの小さな旅』体験記

梵珠山は神性なものを感じさせる山である。今回、施設見学会「梵珠山古のたび」へ参加し小学校の遠足以来の梵珠山へ登ることになった。十月二十七日、時折、たたくような雨の降る中（山の中では雪も降った）、バスで赤く彩られた秋の梵珠山へと向かう。

山道の脇に立つ三十三体の観音像を見ながら登っていく松倉神社、頂上からは青森市を一望出来るパノラマが広がっている。尾根の上に見える原始宗教の陰石を形取った岩で、生殖器崇拜の遺跡である鼻潜り石（別名「胎内くぐり」）や陰陽石、四メートル程の落差があり滝の上には修行者が行水したといわれる穴もある梵珠大滝、と自分が知らなかった梵珠山を見ることが出来た。

その昔、修験者の修行場であったという山の静寂さは、雨音と滝の流水だけを聞かせてくれる。緑が山をつつむ春には、また違った魅力を梵珠山は見せてくれるでしょう。

※施設見学会ではその他、須恵器窯跡、隠川遺跡、原子郷蔵なども訪れました。



梵珠大滝



胎内くぐり（鼻潜り石）

## — おやこ劇場第54回例会 — 子ども寄席 (社) 落語協会

寄席というのは落語や色物と呼ばれる紙切り、奇術等を演じている所のこと。師走の1日を親子そろって寄席に出かけませんか。  
**とき** 12月7日(日) 開演18:30  
**ところ** サンライズプラザ青陽園  
**対象** 小学校3年生以上  
**問い合わせ** 五所川原おやこ劇場事務局  
 ☎34-2170

## 料理教室 『200ボルトクラブ』参加者募集

**とき** 12月16日(火) 10:00~13:00  
**ところ** 東北電力(株)五所川原営業所  
 2階電化教室

**募集人員** 15名

定員になり次第締め切り、12月5日までに電話でお申し込みください。

**教材費** 500円

**申し込み・問い合わせ**

東北電力(株)五所川原営業所  
 お客様サービス課 ☎35-2151  
 内線335

## チェルノブイリ写真展と報告会 = 青森の支援・視察団が見て語る =

**とき** 写真展 11月23日(日) 10:00~17:00  
 24日(月) 9:00~16:00  
 報告会 11月23日(日) 開演 13:00  
**ところ** 市中央公民館  
**入場料** 写真展・報告会ともに無料です。  
**主催** 青森・チェルノブイリ子ども支援ネット  
 五所川原市写真展・報告会実行委員会  
**問い合わせ** 平和労組会議西北五地方本部  
 ☎34-5775

## ※ 誰かのためにできること No.2



声の広報ボランティア

(ボランティア  
協力員 12名)



「私の声を楽しみに待っている人のため」と語る土谷恵子さん。他に十一名のボランティアが視覚障害者の方々のため、広報を録音しています。

※このコーナーでは市内で活躍するボランティアグループを紹介します。

# ともに支え合う 男女共同参画社会をめざして— No.12

## やさしさのあるまちを

### 仕事と社会参画④ 女性と公職

これから、女性の社会参加が進むべき分野として「県議会、市議会」や「国会」が多くあげられています。

本調査でも、全体を通じて女性が公職に就くことに「賛成」と答えている人が多く、「反対」とははっきり答えている人は少数です。

「反対」とははっきり答えている人は少数です。

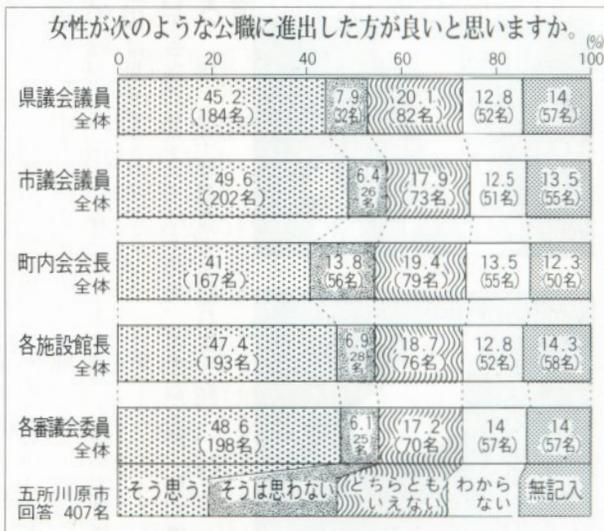
しかし、戦後男女平等を明文化した新憲法が施行されてから50年を経た今でも、女性が意思決定する場に充分参加しているとは言えません。これは、政策決定の場や職場だけでなく、町内会やPTAなどの地域団体の会長職にも共通しています。

今後、女性が社会参加していく上には、女性自身がエンパワーメントしていくことも必要です。

#### ◎エンパワーメント

経済力や方針決定力、自己決定力などの力を身につけること。

### ◎はつらつ女性課 内線236



## 児童手当の申請はお済みですか

- 対象者 3歳未満の児童を養育している方で、前年の所得が一定額未満の場合
- ※ 市民課にて児童手当認定請求書手続きをしますと翌月から受給できます。手続きが遅れますと、受けられる月分の手当が受給できなくなります。
- 児童手当の額 (月額)
  - 第1子・第2子 5,000円
  - 第3子以降 10,000円
- 請求に必要な添付書類等
  - ☆印鑑、請求者の銀行等の口座番号
  - ☆請求者がサラリーマン等の場合は厚生年金加入証明書 (用紙は市民課にあります)
  - ☆市が発行する児童手当用所得証明書 (本年1月1日現在、当市に住民登録されていない方は前住所地の市区町村が発行する証明書)
  - ☆その他必要と思われる書類
- 児童手当の額が増えるとき  
現在手当を受給している方で、出生などの事由により支給の対象となる児童が増えたときは、増額の手続きが必要です。
- 問い合わせ 市民課 内線 203・206

## 外国人による日本語発表会

～国際交流に参加しませんか～

- ◇とき 11月30日(日) 受付開始 10:00～
- ◇ところ 五所川原市中央公民館
- ◇内容
  - 第一部「外国人による日本語発表会」  
外国人の皆さんの『津軽に住んでみて』の感想発表があります。(10:30～12:00)
  - 第二部「フレンドシップ・パーティー」  
グループによる話し合い、歌やゲームで楽しい時間を。(12:30～15:00)
- ◇参加方法 当日受付でどなたでも参加できます。第二部参加者のみ会費500円(軽食代)
- ◇主催 五所川原市中央公民館  
五所川原市国際交流市民の会
- ◇問い合わせ 五所川原市中央公民館  
TEL 35-6056
- ◆初級英会話 (毎週水曜日夜)  
初級中国語会話 (隔週金曜日夜) 参加者募集  
希望者は事務局・千葉まで TEL 35-7567

～市税の納め忘れはございませんか～

固定資産税(第4期)の納期は  
国民健康保険税(第5期)の納期は

12月1日(月)です



## 平成10年度(4月入所)

### 保育所入所申請受付のお知らせ

- ◎受付期間 11月17日(月)～12月19日(金)  
尚、上記期間外でも随時受付いたします。
- ◎受付場所 福祉事務所又は各保育園(所)  
※ 申請書は、福祉事務所、各保育園(所)に備え付けてあります。また、保育園(所)によっては、乳児(0歳)、障害児(軽度、中度)も入所できます。
- ◎問い合わせ 福祉事務所 福祉課児童係  
内線 542

## 平成10年度 母子・寡婦福祉資金 修学資金等予約貸付

- ◎対象者 経済的に困難な事情にある母子・寡婦家庭で、児童が高等学校、短期大学、大学、高等専門学校及び専修学校等に進学を希望する方。
- ◎提出書類 (提出書類は福祉事務所にあります)
  - ①貸付申請書
  - ②添付書類
    - イ) 貸付申請者の戸籍謄本
    - ロ) 配偶者のない女子で、現に児童を扶養していることを証明する書類
    - ハ) 在学している学校からの進学証明書
    - ニ) 支度資金所要額内訳書
- ◎提出期間 11月17日(月)～12月19日(金)  
尚、上記期間外でも随時受付いたします。
- ◎貸付の仮決定 平成10年2月末日までに仮決定をし、本人に通知する予定
- ◎各貸付の本決定と資金の交付
  - ①修学資金、修業資金  
仮決定された人の児童が高等学校等に入学し、在学証明書の提出がされた方に対しては平成10年4月中に本決定し、翌月末日までに資金交付する予定。
  - ②就学支度資金  
仮決定された人で、高等学校等の選考試験に合格し、その合格通知書により入学が現実になった方については、平成10年3月中に本決定をし、同年4月までに資金交付する予定。
- ◎問い合わせ 福祉事務所 福祉課 内線 543

# 第49回 人権週間 (12月4日～10日)

青森地方法務局と青森県人権擁護委員連合会では次の強調事項を掲げ、県民の皆さんに人権尊重思想の大切さを呼びかけています。

- ◎子どもの人権を守ろう — 育てよう思いやりの心—
- ◎国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう
- ◎部落差別をなくそう
- ◎女性の地位を高めよう
- ◎障害者の完全参加と平等を実現しよう
- ◎高齢者を大切にすることを育てよう

「人権週間」にあたり、私たち一人ひとりが、人権について考え、明るく豊かな社会を

当市の人権擁護委員は次の方々です。

〈五所川原人権擁護委員〉		※定例相談所開設日時	
対馬 郁夫	松島町7丁目20	☎34-3121	平成10年1月30日
鶴谷 祿郎	新宮町17-1	☎35-2440	平成10年1月23日
原 芳江	松島町7丁目54	☎35-8590	平成10年3月27日
大村 光子	旭町2	☎35-6363	平成10年2月13日
山口 千代一	毘沙門字中熊石211-1	☎36-3938	平成10年2月20日
坂本 憲昭	錦町1-101	☎34-2293	平成10年2月27日
中川 兵一	豊成字田子ノ浦104-3	☎29-3073	平成10年3月6日
浅見 則昭	松島町7丁目75	☎35-8121	平成10年1月9日
太田 啓子	みどり町4丁目18	☎34-4274	平成10年1月16日
(子ども人権専門委員)			平成10年3月13日
			平成10年3月20日
			平成10年2月6日
			◆問い合わせ 親切サービス課 内線220・221

## 「子どもの人権 110番」

毎週月曜日から金曜日（但し祝祭日を除く）の午前8時30分～午後5時まで子どもの悩みごとや困ったことについての相談を受け付けております。電話番号は下記のとおりです。

「子ども人権110番」

☎0177-74-1020

青森地方法務局人権擁護課

戦没者等の遺族の皆様へ

特別弔慰金の請求期限は平成10年3月31日

平成7年4月1日において、遺族の中に公務扶助料、遺族年金等の受給権を有する者がいない場合に、戦没者等の死亡当時に3親等以内であった遺族の方に、特別弔慰金として額面40万円、10年償還の国債が支給されます。

○問い合わせ 市民課 内線203・206

平成9年度 排水設備工事配管工認定講習

日本下水道協会青森県支部主催の、県下統一認定講習です。

◇申込書配布 11月17日(月)～

◇受付期間 12月3日(水)～5日(金)

◇受講日 平成10年1月29日(木) 14:00～

◇受講場所 弘前市農業協同組合本店4階大会議室

◇受講料 4,000円

◇問い合わせ 下水道課 内線311

つくりましょう。

なお、毎日の生活の中で、お困りのときは、青森地方法務局五所川原支局（五所川原市宇一ッ谷115の1 ☎34-2330）、または、お近くの人権擁護委員にご相談ください。

相談は無料で、秘密は厳守します。

※定例相談所開設日時 毎週金曜日 10:00～15:00  
ところ 親切サービス課（市民相談室）

## ◇◇特設人権相談所開設◇◇

例えば次のようなことでお悩みの方に。

\*家族間によるもの

\*近隣関係によるもの

\*学校・職場内のもの

このほか登記・借地・借家に関する問題、交通事故に伴うもの、その他についてもご相談に応じます。

とき 12月8日(月) 10:00～15:00

ところ 「中三」6階 本町25 ☎34-3131

相談担当者 人権擁護委員、法務局職員

一日人権擁護委員 ミス津軽平野

飛鳥 泰代さん

※「子どもの人権相談」も受け付けます。

## 平成9年度 青森県青少年育成県民推進 五所川原大会参加者募集

11月の「全国青少年健全育成強調月間」に呼応し、表彰、少年の主張発表、実践発表等が行われます。参加者には昼食を準備します。

○とき 11月27日(木)10:00～15:00

○ところ オルテンシア

○問い合わせ 参加については、11月21日(金)

までに電話で親切サービス課へ 内線220・221

# 土地売却（保留地）のお知らせ

南部地区土地区画整理事業

保留地の売却は公開抽選により行います。

## ① 土地の概要

現況は宅地です。（農地転用は市が行います。）

## ② 抽選の参加に必要な書類

- (1) 抽選参加申込書
- (2) 住民票抄本
- (3) 身分証明書

## ③ 募集期間

平成九年十一月十七日から十二月二日まで。（土曜日、日曜日、祝日は除きます）

## ④ 抽選の日時及び場所

平成九年十二月十一日（木）午後一時三十分  
五所川原市中央公民館

## ⑤ 契約の締結日時等

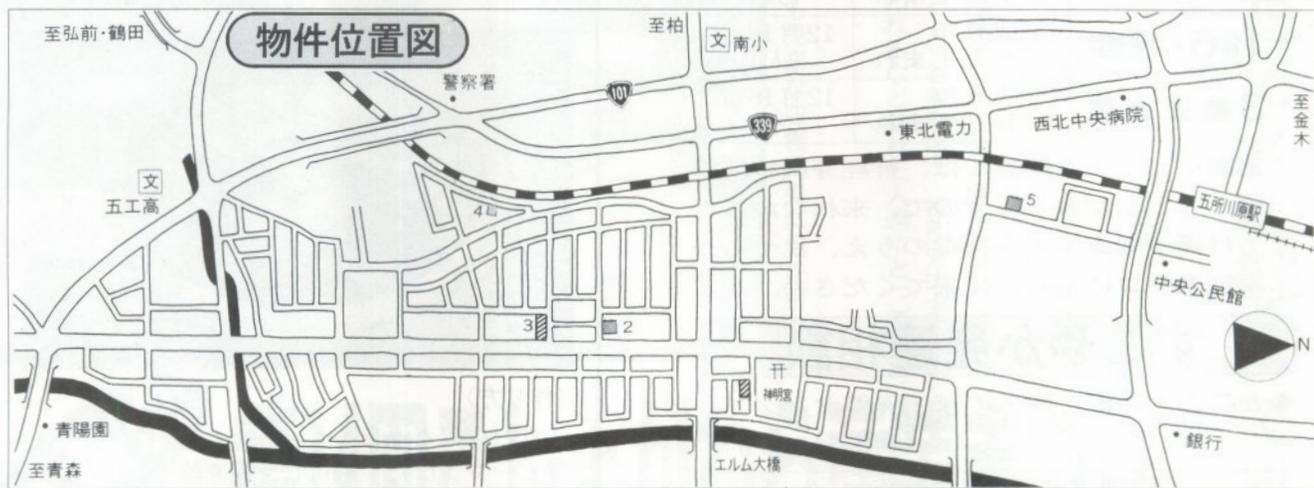
- (1) 決定の日の翌日から十日以内とします。
- (2) 契約保証金は一〇〇分の五以上とします。
- (3) 売買代金は六十日以内に納付していただきます。

## ⑥ 申し込み・問い合わせ先

都市開発課区画整理室  
☎内線三三四・三二五

番号	街区	符号	面積 (㎡)	原単価 (円)	売却価格 (円)	用途	区分	備考
1	26	1	278	33,000	9,174,000	第一種低層住居専用地域	80/50	道路幅員 6m 角地
2	35	8-イ	404	28,000	11,312,000	第二種住居地域	200/60	道路幅員 6m 高压線下
3	45	1	753	50,000	37,650,000	第二種住居地域	200/60	道路幅員 22m、6m 高压線下、3・3・1号線沿い
4	48	1-イ	268	28,000	7,504,000	第一種住居地域	200/60	道路幅員 6m JR五能線沿い
5	2	8	142	33,000	4,686,000	第一種住居地域	200/60	道路幅員 12m

※用途区分の80/50は容積率/建ぺい率です。 ※物件番号1～4は南部地区で、物件番号5は駅東部地区です。



### 会員はこんな仕事をしています。

**サービス分野**  
家事手伝い  
炊事  
介護など

**屋内外の一般作業**  
公園清掃  
樹木消毒  
除草・草刈り  
包装など

**管理分野**  
公民館管理  
駐車場管理  
など

**事務分野**  
文書管理事務  
毛筆筆耕  
宛名書き  
受付事務など

**専門技術分野**  
経理事務  
ワープロ  
など

**折衝・外交分野**  
広報等の配布など

**技術を必要とする分野**  
ふすま張り  
大工仕事  
ペンキ塗り、植木  
手入れ、和洋裁など

大事な庭木などの雪囲いの準備をしていますか！

**シルバー人材センターの仕事の特徴**

- ① 手軽に電話でお申し込みになれます。
- ② 収益を目的としないので、一般的に割安です。
- ③ 公益的、公共的団体なので安心です。

“高齢者の豊かな経験と能力。を活用ください。☎(34)8844

**社団法人 五所川原市シルバー人材センター**  
五所川原市字岩木町12番地(福祉事務所2階)

## 知っておきたい検察審査会制度

— 検察審査員に選ばれたらご協力を —  
検察官のした処分について、正しかったかどうかを審査する機関として「検察審査会」があります。

審審査員は選挙権を持つ皆さんから、くじ引きで11名選ばれます。審査員に選ばれた時には、市民の代表としてご協力をお願いします。

問い合わせ 弘前検察審査会事務局  
☎0172-32-4321 内線340



## すくすく健診

- ◆とき 12:30~12:45
- ◆ところ 市働く婦人の家・保健センター  
(新町バス停前)
- ◆持参するもの 母子健康手帳、バスタオル

	対象児	期日
4ヵ月児健診	平成9年 7月生まれ	12月2日 (火)
1歳6ヵ月児健診	平成8年 6月生まれ	12月16日 (火)
3歳児健診	平成6年 8月生まれ	12月18日 (木)

※お願い 4ヵ月健診では、神経芽細胞腫検査セットを配布しますので、来れなかった方は母子健康手帳を持参のうえ、はつらつ女性課窓口にもらいに来てください。

## すこやか発達相談

- ◆ところ 市働く婦人の家・保健センター  
(新町バス停前)

	開設日	時間	内容
母と子の相談日	12月3日 (水)	10:00~ 12:00 13:00~ 15:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長、発達相談</li> <li>・母子健康手帳の節目(9~10ヵ月、6ヵ月、1歳、2歳等)の相談、育児、遊び、栄養(離乳食等)、相談等</li> </ul>
	12月17日 (水)	12/17の午後は予約が必要です	

※予約相談は随時、電話で受け付けています。

## 献血のご案内

期日	時間	場所
11月18日 (火)	10:00~ 15:30	日立東部セミコンダクタ株式会社津軽工場敷地内

## ◇多血小板成分献血

多血小板血漿成分献血は、血液中から血小板と血漿成分をいただき、赤血球成分は体内へお返しします。

※予約制となっておりますので、希望者は11月21日(金)までにご連絡願います。(内線236)

期日	時間	場所
11月26日 (水)	9:30~ 15:30	新町保健センター

五所川原市役所 ☎35-2111



№15

テーマ:

## 男性も作れる料理

五所川原市食生活改善推進委員会

## 焼きサバのおろし煮

### 材料(4人分)

サバ	4切れ
塩	小さじ1/2
酒	大さじ1
ピーマン	4コ
しいたけ	8枚
おろし大根	200g
水	15カップ
みりん	大さじ2
しょうゆ	大さじ2

サバは今が旬で、脂がのって食べごろ。サバには血中コレステロールを下げ、成人病予防にも効果があり、頭の働きを良くするDH Aも豊富です。

おいしく食べて健康に、旬の味覚を存分に楽しんでください。



### 〈作り方〉

- ①サバは塩と酒をふる。
- ②ピーマンはたて割にし、種を除く。
- ③焼き網を熱し、サバと②を焼く。
- ④水、みりん、しょうゆを煮立て、おろし大根の水気を切って加える。煮立ったら焼いたサバを加えてさっと煮る。
- ⑤ピーマンとしいたけを食べよく切って器に入れ、サバを盛り、おろし汁をかける。

## 思春期ふれあい体験学習

10月22日沖飯詰小で開催

思春期は、身体の発達や自我の確立など大人になるための大切な準備期間です。心が不安定になりやすい思春期の変化を、子どもがプラスに受け止められるよう、心身の変化について自然に話し合える、親の思い・周囲の思いを知ることが出来る家庭でのコミュニケーションが大切です。

市では今後思春期の児童に対する心の健康づくりを支援していきます。命の尊さを学んだ、沖飯詰小5・6年生

